

(参考様式2)

社会資本総合整備計画

令和2年3月31日

計画の名称	31 あおりの交通・物流を支える道路ネットワーク整備による国土強靱化の推進										重点配分対象の該当	○	
計画の期間	令和 2 年度	～	令和 6 年度	交付対象	青森県								
計画の目標	・公共施設や医療施設など都市機能（災害拠点）を有する地域と周辺の居住地域とが密接に連携するための道路整備により、災害時にも地域間の交通・物流を支える道路ネットワーク形成を図る。												
計画の成果目標（定量的指標）	・道路ネットワークの機能向上により、地域間のアクセス時間を44%短縮させる。												
定量的指標の定義及び算定式	$\text{アクセス時間短縮率}(\%) = \frac{\Sigma(\text{要素事業の現道での所要時間(分)}) - \Sigma(\text{要素事業供用による所要時間(分)})}{\Sigma(\text{要素事業の現道での所要時間(分)})} \times 100$										定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (R2当初) 17% 中間目標値 (R4末) 43% 最終目標値 (R6末) 43%		備考
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		1,601 百万円	A	1,601 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業														R2	R3	R4	R5	R6	全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業 者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名			事業内容 (延長・面積等)	市町村名										
31-A1	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(一)	相馬常盤野線	大秋	現道拡幅 L=1.2km	西目屋村						66			R2	
31-A2	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(主)	五所川原黒石線	梅田	バイパス L=0.6km	五所川原市						695			R4	
31-A3	道路	一般	青森県	直接		国道	改築	(国)	国道338号	砂子又	バイパス L=0.9km	東通村						60			R2	
31-A4	道路	一般	青森県	直接		国道	改築	(国)	国道279号	二枚橋	バイパス L=4.1km	むつ市						200			R2	
31-A5	道路	一般	青森県	直接		都道府県道	改築	(一)	後平馬屋尻線	五庵ノ下	現道拡幅 L=1.1km	七戸町						80			R2	
31-A901	道路	一般	青森県	直接		市町村道	新設	(他)	古野・大川目線	易国間	新設 L=0.9km	風間浦村						500			R2	
												合計					1,601					

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	備考
										R2	R3	R4	R5	R6			
										合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										R2	R3	R4	R5	R6			
										合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									R2	R3	R4	R5	R6				
										合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R2	R3	R4	R5	R6
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えて いる場合その理由					

※ 令和2年度以降の各年度の決算額を記載。